

## ◆戦略企画雇用経済常任委員会報告◆

### 「県政だより みえ」の見直しについてご意見をお聞かせ下さい！

「県政だより みえ」は毎月一回発行され72万6千部を各世帯配布しています。この事業費は、年間、約1億6,500万円（制作1,200万円・印刷6,000万円・配布9,300万円）です。

#### 《現在の課題》

- 1、編集・印刷・配布に2カ月を要するため最新情報の掲載が困難である。
- 2、自治会に配布を委託しているため自治会未加入世帯には配布されない。
- 3、インターネット社会となり県民の情報入手手段が多様化しており紙媒体の限界がある。

#### 《改革の方向》

平成26年2月から県政情報の発信を地上デジタル放送のデータ放送で試験放送し（2カ月の試験放送費は約1,800万円）、4月から本格運用し、その後「県政だより みえ」のあり方を見直します。

- 1、テレビのリモコンのd（データ）ボタンを押す簡単操作で手軽に県政情報をテレビで見ることができる。
- 2、今まで届けられなかった自治会未加入世帯へ届けることができる。
- 3、紙面の制約がない。
- 4、最新のイベント情報を届けられるようになる。



⇒ 私は方向性としては賛成ですが、データ放送の双方向性のメリットの積極活用や、これまでの「県政だより みえ」も生かしたクロスメディアの必要性を委員会で指摘しました。

県はこれまでの「県政だより みえ」をなくすことは考えていませんが、配布の方法を見直し全戸配布を改めることを考えています。

この「県政だより みえ」のあり方見直しは、県の広聴広報体制の大きな改革です。この一年間しっかりと議論を重ねより良い仕組みをつくらなければいけないと考えます。ぜひ皆様のご意見をお聞かせください。

※メール (inagaki@dream-21.jp) または、FAX (059-330-4089) までお願いします。

### 三重県観光キャンペーンスタート

「三重県の知名度向上」、「県内の周遊性・滞在性の向上」、「三重ファン・リピーターの拡大」を目指し、4月1日から年間観光キャンペーンを大々的に展開しています。キャッチコピーは

～実はそれ、ぜんぶ三重なんです！～

#### 《取組内容》

##### ■みえ旅パスポートの発給

スタンプラリー機能で、三重の特産品等が抽選で当たります。またステージアップ（3ステージ）し賞品もよりグレードアップします。またパスポート提示することで「みえ旅おもてなし施設」で各種割引等のサービスが受けられます。

##### ■みえ旅案内所を設置

観光案内所や道の駅等に設置し、みえ旅パスポートの発給やオフィシャルガイドブック、地域別パンフレットを配置します。



### いなぎ昭義プロフィール

昭和47年6月10日 四日市市東坂部町生まれ（現在40歳）  
大池中学校・四日市高等学校・立教大学法学部卒業  
平成7年4月 株式会社三重銀行入行（富田支店に配属）  
平成10年8月 株式会社三重銀行退社 次世代のために政治活動開始  
平成11年4月 三重県議会議員選挙出馬（26歳）12,431票で次点（416票差）  
学習塾・パソコン教室などを立ち上げ4年間生活。  
NPO法人三重県フリーマーケット協会設立などたくさんのNPO活動に携わる。  
平成15年4月 三重県議会議員選挙 初当選（30歳）最年少  
平成19年4月 三重県議会議員選挙 二期連続当選  
平成23年4月 三重県議会議員選挙 三期連続当選  
政策防災常任委員会委員長、NPO等ソーシャルビジネス支援調査特別委員会委員長、  
四日市港管理組合議会第45代議長（歴代最年少）等を歴任  
【現在】 県議会最大会派「新政みえ」政策局長

発行：いなぎ昭義事務所 電話059-330-4088 FAX059-330-4089 〒512-0904 四日市市東坂部町75-1

<http://www.dream-21.jp>

三重県議会議員

あきよし

# いなぎ昭義

後援会  
会報

## Contents もくじ

- ごあいさつ
- 県政座談会のご案内
- 予算委員会総括質疑に登壇
- 「県政だより みえ」について
- 観光キャンペーンスタート
- いなぎ昭義プロフィール



平成25年度がスタートしました。今年度は20年に一度の神宮式年遷宮の年です。知事は25年度当初予算のポイントは、「三重県の魅力を大きく発信するブランド力アップ」、「防災、減災対策を推進し地域を守る」、「児童虐待やいじめへの対応を強化し子どもを守る」の3本の柱とされました。

三重県の魅力を強力に発信するため4月から観光キャンペーン「実はそれ、ぜんぶ三重なんです！」がスタートしました。また夏には東京日本橋に首都圏営業拠点が新たに開設されます。

約一千万の方が神宮に参拝するといわれる今年、「三重に来てよかった」「また三重に来たい」と多くの方に思ってもらえるよう私も微力ながら取り組ませていただきます。

また4月で私自身、県議会議員として当選させていただいて10年を迎えました。あっといふ間の10年間でしたが一つの節目として志新たに、初心を大切にこれからも全力で走り続けます。

今後とも変わらぬご指導・ご支援賜りますようお願い申し上げます。

三重県議会議員 稲垣昭義

### 県政座談会のご案内

定期的開催しております座談会を下記日程で行います。ぜひお誘い合わせでお越しください。どなたでも気軽にご参加いただける報告会です。よろしく申し上げます。

6月2日（日）18：30～	川島地区市民センター
6月2日（日）19：30～	常磐地区市民センター
6月9日（日）18：30～	塩浜地区市民センター
6月9日（日）19：30～	楠福社会館

■ブログ「初心、継続。」  
<http://ameblo.jp/dream-21>

稲垣昭義 ブログ 検索



※ブログは日々更新しています。ぜひご覧ください。

※Face Bookはじめました。こちらでも交流をお願いします。

facebook

Vol.37

# ◆ 予算委員会総括質疑に登壇 ◆

## ■ 県債残高削減に向けて知事と激論!!

### 《稲垣昭義の質疑での指摘ポイント》

鈴木知事は、県債残高を減少させ、財政健全化をはかると「県民力ビジョン」で示しています。具体的には、臨時財政対策債を除く県債残高を平成26年末には、平成23年度末（8,190億円）より減少させるとしています。

下の表の通り、平成24年度末の県債残高は、8,330億円となり140億円増加します。平成25年度予算は人件費約75億円を未計上、「地域の元気作り交付金」約83.4億円を県単公共事業にまわすなど非常に厳しいやりくりをして、当初予算では県債残高を減少させる方向を示しています。

かなり努力をして財政健全化の方向を守ろうとしていることは評価するものの今後、国から更なる公共事業等で財政出動を求められた場合限界が来ていると考えますがいかがですか？

### 《鈴木知事の答弁のポイント》

7月以降の公務員の人件費7.8%削減も含めてあらゆる手段を考え、県債残高削減は達成したいとの答弁でした。

### ※この議論のポイント

アベノミクスで、金融と財政と成長戦略の三本の矢でデフレ脱却し強い経済を作ろうと政府は取組んでいますが、国も地方も多額の借金を抱え財政出動には限界があります。限られた財源で最大の効果を出すことが政治の役割であることを私は指摘し、鈴木知事と考えが共有できたと思います。

また金融政策で景気回復させることの限界もあり、私は三本の矢の内、成長戦略に腰を据えて取り組むことが最も重要と考えます。

(単位：億円)

	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年
県債残高(※1)	7836	8070	8120	8190	8330	(8224)	(8185)
臨財債(※2)	2401	3078	3733	4217	4829	(5273)	
合計	10238	11148	11853	12407	13159	(13497)	

※1) 建設地方債等、三重県が行財政改革で県債残高を減少させる取組の対象としている県債。

※2) 臨時財政対策債で国の指導に基づく県債で後に交付税措置されるもの。

## ■ 自治体アプリを活用した観光振興策提案!!

### 《稲垣昭義の提案ポイント》

今年は20年に一度の神宮式年遷宮の年であり本県も4月1日から大々的に観光キャンペーンを行います。スマートホンが普及している今日、アプリを活用した三重の魅力発信に力を入れてはいかがですか？

### 《鈴木知事の答弁のポイント》

県のHPや観光連盟のHP、4月1日以降発行するオフィシャルガイドブックなどで開発されたアプリの周知を図っていききたい。また県のHP等からダウンロードできる手法も検討していききたいとの答弁でした。

※「伊勢ぶらり」「かざすCITY伊勢」「伊勢旅バリフォン」といった無料アプリが既に開発されています。この自治体アプリの取組を県が率先して研究し、今後更に広げることを提案致しました。

## ■ 平成33年三重国体開催に向けた戦略を議論!!

～平成31年のラグビーワールドカップ日本開催に向けた本県の対応～

### 《稲垣昭義の提案ポイント》

本県では、平成30年にインターハイを開催し平成33年には三重国体を開催することが決まっています。一方、平成31年にはラグビーワールドカップの日本開催が決まっていて、また平成32年に夏季五輪を東京開催出来るよう国を挙げて誘致活動が行われています。

国体に向けて、例えばラグビーワールドカップの出場国のキャンプ地として本県として働きかけるとか、東京五輪が決まった場合本県はどのように関わるのかといったことを含めた総合的な戦略を持って、施設整備、選手の育成等に取組むべきと考えますがいかがですか？

### 《鈴木知事の答弁のポイント》

ラグビーは、本県は国体で優勝するなど活躍していることもあり、平成31年のワールドカップに向けて今、日本ラグビー協会と頻りに連絡を取っていることを明らかにされました。今後費用対効果等も考慮し戦略を持って取組んでいくとのことでした。

## ■ 県立四郷高校に外国人に配慮した入学者選抜実施を要望!!

### 《稲垣昭義の提案ポイント》

四日市の笹川地区には多くの外国人が居住しています。その笹川地区に立地する県立四郷高校にて日本語のハンディを超えて入学選抜で外国人生徒に対する配慮を実施することは非常に重要と考えます。平成26年入試から対応いただきたいと考えますがいかがですか？

### 《真伏教育長の答弁ポイント》

現在、県内で外国人児童生徒の入学選抜に係る配慮は英語科・総合学科を持つ17校21学科で行われていますが四日市市内の県立高校は一校もないので十分検討していきたい。一方受入れ側の高校に、きちっとした日本語教育の仕組みを作ることが必要なため色々な面を含め検討していきたいとの答弁でした。

## 稲垣昭義 活動ショット!



平成24年12月9日  
釈迦が岳登頂



平成25年1月30日  
定期的に行う街頭演説



平成25年2月3日  
垂坂元三大師節分豆まき



平成25年2月7日  
沖縄県立中部病院で臨床研修プログラム調査



平成25年2月18日  
三重テレビ番組収録



H25年2月27日  
本会議にて議員報酬・政務調査費減額提案